



いいで町

199号

議会だより

にぎわいの おいでマルシェ



9月定例議会



携帯・スマホからアクセス!

9月定例会概要 脱炭素先行地域事業始まる

.....	P 2 ~ 3
令和6年度決算 実質公債比率は年々増加 ...	P 4 ~ P 9
町政を問う 7名の一般質問	P 10 ~ P 13
議会の新たな体制	P 16
意見交換会／観光協会・米坂線絆まつり	P 17
町民からのメッセージ	P 18

域事業始まる

フル活用した資源循環モデル
で安心価格で電気を提供する



一般会計補正予算(第5号・第6号) は1億1397万円を追加し 総額76億9443万円に

(主な歳入)

● 地方交付税	4747万円
● 特定地域脱炭素移行加速化交付金	3704万円
● 企業版ふるさと寄付金	2025万円
● 土木債	720万円
● 農地利用効率化等支援交付金	712万円
● 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付	618万円
● 森林環境譲与税基金	500万円

(主な歳出)

● 地球温暖化防止事業	3870万円
● 工業振興事業	2010万円
● 障がい者自立支援事業	716万円
● 基本構想・経営体育成事業	712万円
● 道路維持事業	693万円
● 児童手当支給事業	605万円
● 河川総務費	504万円
● 国民保護計画推進事業	383万円

概要

令和7年9月定例会は、9月9日から19日までの11日間の会期で開催されました。一般質問は7名が、2日間にわたり町政をたどしました。

3日目の議案審議では一般会計補正予算の専決処分の承認1件、一般会計補正予算(第5号)を含む各会計補正予算11件について審査し、原案のとおり可決しました。

また、令和6年度会計決算認定13案件を決算特別委員会に付託し、審査しました。

4日目は、総務文教・産業厚生各常任委員会において所管事務調査を行い、8日目・9日目は、決算特別委員会において、決算について審査を行いました。

最終日には、令和6年度会計決算認定13案件を認定、追加提案された一般会計補正予算(第6号)を原案どおり可決し、人事案2件に同意しました。



「子どもたちが遊べる場所・気軽に集まる場所」が少ない本町だが、少しでも解消しようとの発想で生まれたのが「おいでマルシェ」です。町観光協会が企画して10月4日に開催され、秋晴れのもと、会場にはフード19店舗はじめ雑貨28店、キッチンカー8台、9つのワークショップもの出店があり、多くの方でにぎわいました。観光協会ではこの活気を次の事業に活かしていきたいとしています。

表紙の説明
おいでマルシェ

9月 定例会

脱炭素先行地

内容 地域資源(牛の糞尿)を
事業性を確保すること

補正予算の主な質問と回答

〔記載は順不同〕

◇バイオガス発電施設 整備補助金

遠藤(芳)議員 補助金の
内容と補助先の決定
方法は。

住民課長 バイオガス
発電施設の基本設計に
補助したい。公平性を
確保するため、公募型
プロポーザル方式で実
施する予定。

◇情報システムの標準化

遠藤(純)議員 行政事
務情報化推進事業33
0万円の増額について、
自治体情報システムの
標準化によるとなつて
いるが標準化とは何か。

企画課長 各自治体の
情報システムを国の基
準で置き換えるもので、
置賜広域行政事務組合
で取り組んでおり、12
月からシステムが稼働
する。

◇修繕内容

舟山議員 棧橋修繕料
の追加は。

商工観光課長 大日杉
小屋の棧橋で、上部工
の板部分及び固定する
両側の棧横木を交換す
る。

◇地域づくり推進事業 補助金

高橋(勝)議員 地域づ
くり推進事業補助金1
72万円は当初予算が
不足したためとのこと
だが、必要なのは進捗
率が低い地区への助
言・指導では。

企画課長 進捗率が評
価のすべてとは思って
いない。経費のから
ない事業もあるが、補
助事業を活用していた
だけに、相談体制を
整えている。

◇推進事業費の活用

島貫議員 地域づくり
推進事業費の使い方に
地域間に偏りがあつて
地域の活動に格差がで
ていると思われるが。

企画課長 現状はその
とおりで、当該の地区
には事業費を有効に活
用し、地域の活性化を
図るように話し合つて
いきたい。

◇災害復旧費

菅野議員 中地区の準
用河川、土砂撤去事業
は、令和6年7月の豪
雨被害だと思つが、災
害復旧でなく、なぜ町
単独債での事業なのか。

地域整備課長 上流部
は災害復旧で実施した
が、今回の現場は河道
断面の3割以上推積し
ていることが証明でき
ず町事業になった。

◇駐車場舗装修繕工事

横山議員 手ノ子スキ
ー場の駐車場舗装修繕
工事請負費等の追加3

77万円の内容は。

社会教育課長 除雪委
託も合せて、駐車場の
全面積1872㎡の内、
大きく穴の開いた10箇
所、面積で306㎡の
舗装修繕を行う。

◇業務委託

高橋(亨)議員 GIG
Aスクール運営支援
センター業務委託料
244万円減額の内容
と理由は。

教育総務課長 ICT
授業において、機器の
トラブルや故障などが
発生した場合、委託先
の民間事業者が解決の
支援を行うものである。
減額理由は、今年度か
ら本事業に対しての国
の補助金が終了したこ
とと、学校でのICT
事業に係る相談件数が
減少したことなどで、
本業務委託を行わない
ためである。

◇開発補助金

松山議員 雪道でも走
る電動車イスの開発に
今年度も1800万円
の補助金を出すのが適正
なものなのか確認は。

商工観光課長 180
0万円は雪道でも走る
車イスの開発業務を継
続できれば安いものと
考えている。現物につ
いては担当職員が神奈
川県に出向いて確認し
ている。

人事

教育委員会委員

任期

令和7年10月1日～

令和11年9月30日まで

堀江 優子

大字椿

人権擁護委員

任期

令和8年1月1日～

令和10年12月31日まで

渡部 和浩

大字黒沢

増加、将来負担率は改善傾向

過去 5 年間の各基金残高 基準日 令和 7 年5月31日現在 (単位：万円)

基金の名称	令和2年度 現在高 (R3.5.31)	令和3年度 現在高 (R4.5.31)	令和4年度 現在高 (R5.5.31)	令和5年度 現在高 (R6.5.31)	令和6年度 現在高 (R7.5.31)
財 政 調 整 基 金	4億5712	5億1223	4億5969	3億8985	4億5801
減 債 基 金	1億7234	2億9939	2億9234	2億5118	2億1025
地 域 福 祉 振 興 基 金	8843	8944	9345	6596	2400
公 共 施 設 整 備 基 金	3億8168	3億2054	3億2564	2億5502	1億1553
地 域 振 興 基 金	4806	4507	4507	3898	2419
いいでめざみの里応援寄附基金	6035	6037	6037	37	37
中小企業緊急災害等対策利子補給基金	2500	1871	1280	773	348
企業版ふるさと納税地方創生基金	0	500	1000	330	440
ス ポ ー ツ 振 興 基 金	3740	2841	2842	1022	773
交 通 遺 児 等 支 援 基 金	501	501	501	501	501
小 計	12億7539	13億8417	13億3279	10億2762	8億5273
国民健康保険財政調整基金	1億0393	9562	1億0462	1億0462	1億0505
介護保険介護給付費準備基金	1億3271	1億7272	2億1103	2億3445	2億5325
畜 産 振 興 基 金	5525	5526	5526	5526	5526
森 林 環 境 譲 与 税 基 金	1063	1063	1287	1207	807
奨 学 資 金 貸 与 基 金	6446	6446	5446	5446	5447
土 地 開 発 基 金	1億7161	1億7165	3745	3745	3745
財 産 区 基 金 (4財 産 区)	8119	7944	7315	7218	7205
小 計	6億1978	6億4978	5億4884	5億7050	5億8559
総 合 計	18億9517	20億3395	18億8163	15億9811	14億3832

基金残高は前年度より1億5987万円少ない14億3832万円で、前年度に比べ10%の減である。財政調整基金は、4億5801万円で適正額の標準財政規模の10%の額のおおよそ106.3%である。令和 8 年度以降に町償還金のピークを迎えることから、計画的な積立を図ることが必要である。

監査総評、指摘事項

一般会計及び各特別会計（10会計）の会計全般について、歳入は予定どおり確保され資金繰りは順調であったと思料される。一般会計決算における財政分析主要指数の推移を見ると、※¹財政力指数0.199、※²実質収支比率6.0%、※³経常収支比率95.2%であり、弾力性に乏しい財政状況下にある。町民総合センター大規模改修事業、中学校大規模改修事業及び新産業集積事業等の実施に伴う地方債残高の増加により、※⁴実質公債費比率は年々増加。※⁵将来負担比率は改善の傾向にある。また、各基金残高は減少し財政状況は悪化している。一般会計、特別会計合わせて令和 6 年度末町債残高は95億3849万円で、住民一人当たりになると約150万5000円である。

令和6年度
決算概要

実質公債比率は年々

一般会計決算

歳入 80億7435万円

歳出 76億9338万円

令和6年度の一般会計、各特別会計、水道事業会計及び下水道事業会計の決算は、決算特別委員会において審査の上、全会一致で認定となった。一般会計決算では義務的経費の内、人件費は前年度より9870万円増加し、前年度比9.3%の増加。扶助費は2953万円増加し、同比5.1%の増加。公債費は1億7852万円増加し、同比17.8%増加。財政状況の厳さを鑑み、経費削減に努め良い行政サービスの提供が必要がある。また、これまでの大型事業により地方債の償還金は、令和10年度まで12億円前後で推移し、償還のピークを迎える。加えて、各基金残高は減少し財政状況は悪化している。この状況を全職員が共有し、これまでの前例踏襲を見直し、最大限の歳出削減に取り組むべきであり、議会もより一層注視していく。

過去5年間の公債費推移

(単位：万円、%)

区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
※6 公 債 費 決 算 額	9億1113	8億4815	9億2523	10億0325	11億8177
歳出総額に占める割合	10.1	11.8	12.0	13.1	15.4
実 質 公 債 比 率	10.6	12.0	12.8	13.5	14.1

実質公債費比率は年々増加し、当年度は14.1%となり昨年度より0.6%増である。

過去5年間の財政収支の状況

(単位：万円)

項 目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
歳 入 総 額	93億5963	76億7421	82億5610	82億8879	80億7435
歳 出 総 額	90億4008	72億0158	77億2425	76億7937	76億9338
基 金 積 立 金	4	11	1億4445	16	16
基 金 取 り 崩 し 額	1億3100	7800	4億0800	2億3500	1億7900

用語説明

- ※1 財政力指数：必要とする一般財源に対して税収入等がどれだけあるかを示す指数。
- ※2 実質収支比率：この比率が黒字の場合は余剰金があること。3～5%が望ましい。
- ※3 経常収支比率：経常経費に地方税、地方交付税、地方譲与税などの収入がどの程度充当されたかを見ることにより、財政構造の弾力性を判断する指数。
- ※4 実質公債費比率：町の借金返済額を標準的な財政規模で負担する割合を率で表したもの。
- ※5 将来負担比率：将来負担する借入金の残高などから貯金など標準的収入に対しての割合の数値
- ※6 公債費決算額：町の借金の返済額。

視して経費節減

総務文教
所管分



決算特別委員長

高橋 たかはし

勝 まさる

令和6年度一般会計、各特別会計（国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険・訪問看護・介護老人保健施設・財産区）、水道事業会計及び下水道事業会計合わせて13件につき、決算特別委員会を設置し、審査しました。

決算特別委員長に高橋勝委員、副委員長に菅野富士雄委員を選出し9月16日・17日の2日間にわたり慎重な審査を行い、いずれも全員一致で認定すべきものとなりました。

（各委員の質疑内容は要約して記載）

一般会計

特殊詐欺防止機能付電話機設置事業の内容は

横山委員 特殊詐欺防

止機能付電話機設置事業として73万7000円はどのように使われたのか。

生活環境室長 録音機

能付き電話機90台、既

存の電話機に設置する録音機10台を購入し、65歳以上の方を対象に貸出する取り組みである。8月末現在ですでにそれぞれ38台、10台を貸し出している。

取支援事業として63万2千3580円を実施しているが、昨年より272万円ほど増加している理由は。

無線放送聴取事業費の増加について

舟山委員 無線放送聴

防災管財室長 コミュニティFMと共同利用の協定の負担金額が大きかったためである。

納税未収金について

遠藤（純）委員 令和5

年度に比べて未収金が大幅に減少している理由と、外国人の国保税の未納対応は。

税務会計課長

法律に基づき不納欠損を行なったことと、国保税の滞納繰越分が11パーセント増加したこと、固定資産税も0・4パーセント増加したことによる。外国人の未納者は4名いる。広域で連携しながら収納に努めていきたい。

住民課長 国の法律改正に伴い、その都度システムの更新や点検をしているためである。

委託業者は同じ一社のみで、すべて競争ではなく委託契約になっている。

住基ネット関係の委託額が高額な理由は

松山委員 住民基本台

帳関連の業務委託料があまりにも高額だ。人員削減にもなっていない。これはデータ型式の標準化ができていないからだ。業者間の競争はないのか。



住民基本台帳ネットワーク

決算特別 委員会

小額の収支に注



最後まで軽自動車の管理を

軽自動車税が未収
になる形態とは

菅野委員 軽自動車税は町の重要な税収源であるが、それが未収になる場合というのはどのような場合か。

税務会計課長 その軽自動車の所有者が死亡してそのままになっていく場合、車検の短い軽自動車を乗り継いで、期間が経過した後に車検も取らずにそのまま放置したり、廃車手続きをしないで保管していたりした場合である。

公共施設整備基金
の用途は

遠藤(芳)委員 公共施設整備基金が、道路維持費、除雪費、義務教育学校開校準備など維持費や修繕費に使われているが、本来の用途としてはどうなのか。

総務課長 維持補修についても、公共施設整備基金の条例に定められた使途に該当するものと理解している。財政難から計画した事業を中止、縮小してもなお、災害によるインフ

ラ復旧のための資金が捻出できずに、住民の生活維持のために基金から振り向けたものである。

町役場の電話料金と
通話記録について

島貫委員 町役場の電話料金が少なくなっているが何か工夫しているのか。また、町に電話すると、通話を録音される場合とされない場合があるが、通話録音されていない課には、苦情電話が少ないということがあるか。

総務課長 電話料金が減ったのは通信回線の工夫によるものである。苦情が少ない課だけ通話が録音されていないということではない。順次すべての電話機に対して通話を録音できるようにする。

特別会計

レセプト点検とは、
その必要性は

松山委員 レセプト(病院からの請求書)の点検・審査に191万円ほど支出しているが請求書の点検は請求者側ですべきであって支払い者が金を使つてすべきものではないのでは。そもそもオンラインの

住民課長 県から、レセプトは確認の上で支払いするようにという指示があるために、病院等から寒河江市にある国保連合会にレセプトを送ってもらい、点検してから町にくる。

現在、間違いなど出るはずもない。その支出先と内容は。



請求書を確認することが大切

は明確になっているか

産業厚生 所 管 分

一 般 会 計



雪害が発生しない維持管理を

貸工場の雪害修繕
と負担割合は

舟山委員 貸工場雪害
修繕工事1860万円
の内容は。また今後、
修繕が必要になった場
合の借り主側との補償
負担割合は、どのよう
に取り決めを行ってい

くのか。

商工観光課長 令和3
年に発生した雪害修繕

である。今後の負担割
合については、軽微な
ものは借り主側が行い、
大きな修繕については、
町と借り主側が協議し
て割合を決定したい。

工事内容と財源の
内訳は

菅野委員 中津川と福
島県喜多方方面とを結
ぶ飯豊松枝岐線の法面
工事の財源内訳と工事
内容は。

農林振興課長 国の交
付金50%、県支出金4
%で、残りが町の財源
となる。工事は、劣化
法面のモルタル吹付け
となっている。

再質問 町の重要事業
として要望しており、
県には財源の高配をい
ただいているのか。

農林振興課長 ここ数
年4%で推移しており、
引き続き陳情に努めて
いく。

町内民間医療施設
の運営状況は

遠藤(芳)委員 地域医

療を確保するため、町
内民間医療施設に3千
万円の貸付けを行った
が、現在の運営状況は。

健康福祉課長 医師の
配置変更などで、来院
者と新規患者数が微増

し、前年度より経営状
況が改善されていると
聞いている。また、医
療系コンサルによって
医師の採用や健康診断、



町の支出を減らしたい飯豊松枝岐線

高齢者への
配食サービス数は

巡回接種など経営改善
に向けた取り組みに着
手されている。

横山委員 配食サービ

ス業務委託205万円
のサービスの内容と利
用者数は。

健康福祉課長 65歳以

上の高齢者の見守りと
栄養改善を兼ねて、月
平均224食の配食を
行った。

決算特別 委員会

雪害修繕費負担割合

町民の入所状況は

島貫委員 おいたま荘

運営負担金として、790万円が支出されているが、町民の入所者数は。

健康福祉課長 100

人の定員で、町の枠は16人となっているが、令和6年度は6名である。現在入所者は88名となっており、全体的に入所希望者は減少傾向にある。



入居者が減少傾向のおいたま荘

豪雨災害での地図の活用は

遠藤(純)委員 令和4

年と6年の豪雨災害で境界の不明な土地について、地籍調査で作成された地図は活用されたか。また6年度事業の実績等の進捗状況は。

農林振興課長 災害復

旧の際に、図面に重ね合わせて活用した。また6年度は、中津川上原地区0・33km²と宇津沢地区0・23km²で完了しており、現在上原地区分は登記所に送付している。なお進捗率は15%程度となっている。

特別会計

システム料の増減は

舟山委員 介護老人保

健施設利用者管理システム賃借料207万円は、利用者の増減によって料金が変化するか。

介護老人施設事務長

利用者数で賃借料は変わらない。

財産区の今後は

遠藤(純)委員 特別地

方公共団体として存続しているものの、活動がほぼない状況も見られる。今後の対応は。

農林振興課長 添川と

中津川以外の財産区の現在の活動は、主に下草刈りなどの管理作業となっている。今後については、各管理会で

本管の更新計画は

遠藤(純)委員 水道管

本管を敷設して年数が経過しており、漏水も起こっている。今後の老朽化した本管等の更新計画は。

上下水道室長 管の耐



水道管の計画的な更新には膨大な財源が必要

一般質問

一般質問で町政を問う



録画中継を見ることができます

7人の議員が質問を行った。

発言順	議員名	質問事項（各議員のページ記載の事項のみを表記）	ページ
1	えんどう すみ お 遠藤 純雄 議員	①米の増産転換、本町の対応について ②人口減少問題について ③米坂線復旧について	P10下
2	えんどう よしあき 遠藤 芳昭 議員	宿泊観光施設と第三セクターの課題について	P11上
3	たかはし まさる 高橋 勝 議員	①猛暑に起因する課題への対策を問う（水田・部活） ②フォレストいいで再建に係る財政負担は	P11下
4	ふなやま まさ お 舟山 政男 議員	行政が、住民に組織化を願っている諸団体の在り方について	P12上
5	よこやま きよひこ 横山 清彦 議員	①高齢者の健康維持と支援について町の取り組みは ②飼い主のいない猫（野良猫）と共生するための町の取り組みについて	P12下
6	まつやま かずよし 松山 和好 議員	学校名変更の予定と脱炭素事業の不確実性について	P13上
7	しまぬき ひさ お 島貫 寿雄 議員	今の飯豊町に厳しい財政以外に不足しているもの、問われる政治家の覚悟とは	P13下

※記載している文章は抜粋したものです。また、質問した議員が自らの責任で執筆しています。

米の増産対応、人口減少、米坂線復旧について

町長

荒廃している転作地の復旧は補助事業で行う。

米の増産対応について

質問 昨今の米不足から増産の動きだが、その対応と農家所得の考えは。

町長 米で生産調整している農地が240haあり、荒廃地や用排水路は補助事業で復旧していく。米の値段は農業者の所得向上と経営安定が重要と考える。

人口減少対策について

質問 人口減少が続いている。その対策と施策の効果は。

町長 毎年平均で124人減少が続いている。様々な課題に20のプロジェクトで取り組んで

おり、暮らし満足度No.1を目指し頑張っている。

米坂線復旧について

質問 令和4年の豪雨災害から3年が経過し、依然復旧が行われていない米坂線。JRからは復旧案がいろいろ提案されているようだが町はどう進めていく考えか。

バス代行）してきている。現段階では復旧の方向性が決定されていない。今後も米坂線復旧検討会議において議論していくし、再構築協議会の活用についても併せて行っていく。町としても利用拡大策を図りながらできるだけ早期に米坂線復旧の方向性を示せるよう努力したい。

町長 JRでは4つの運営案を提示（JR直営、上下分離方式、第3セクター、



復旧を待つ米坂線（長瀬踏切から椿駅方向）



えんどう すみ お
遠藤 純雄 議員

町の宿泊施設 経営健全化に努めよ

町長

地域活性化起業人2名採用へ
町としての責任を果たす

しらさぎ荘の現状は

質問 公社の決算報告

によると「しらさぎ荘」の宿泊部門は抜本的な改善が必要とあるが。

厳しい経営が続く

町長 宿泊者の減少があり、厳しい経営が続いており対応を検討協議している。



しらさぎ荘の経営改善を

白川荘の現状は

質問 報告では白川荘

の宿泊定員稼働率が低く経営を厳しくしているところとある。老朽化や地理的にも厳しい条件下、町は施設の運営をどう対応するのか。

2名の活性化起業人を採用し支援する

町長 三十年前のままの施設ややり方では現状の課題解決は難しい。根本的に経営を考える組織体が必要だ。
商工観光課長 今年度は組織強化と単年度黒字化を目指してきたが業績ががらなかつた。



えんどう よしあき 遠藤 芳昭 議員

現実を見据え改革を

質問 経営上では物価

高騰による経営損失への対応が必要ではないか。また経営状況や将来予測から部門によって「廃止」や「縮小」などの改革も必要ではないか。

行政の責任を果たす

町長 行政の責任として施設経営を考えていきたい。今の経済状況に適応する委託料も検討していきたい。

猛暑に起因する課題への 対策は（水田・部活）

町長

抜本的で恒久的な
解決策を講じたい

6年ぶりの水不足に

質問 町内各所で農業

用水不足で、田面が白くひび割れる状況が発生した。今後の関係機関との対策協議は。



未整備の用水路

町長 まずは2つの土地改良区と、慢性的に水不足となる箇所を把握したい。その後に地元の意向を伺いながら、慢性的な水不足の解消に向けて、抜本的で恒久的な解決策を講じた

部活動が連日中止に

質問 今夏は連日のように熱中症警戒アラートが発令され、部活動もプールも中止となった。今後の夏場における部活動の在り方をどう考えるか。

教育長 生徒の健康と安全を最優先に部活動



たかはし まさる 高橋 勝 議員

再建の財政負担は

質問 フォレストいい

での再建に向けた動きは。また、財政負担は発生するのか。

町長 現在、「株式会社さとゆめ」（公募型プロポーザルで選定）において、運営形態や改修計画について、また町の財政負担を軽減することを念頭に事業化を検討している。

住民に組織化を願っている 団体の在り方について

町長

持続可能な地域社会の
構築を目指していきたい

設置当初との変化は

質問 区協議会等、多

くが設置されている。
人口減少、少子高齢化
にあつて、設置当初と
組織の在り方に変化は
していないか。

組織のスリム化を
考えることは必要

町長 住民と行政はと

もにまちづくりを行う
対等なパートナーであ
り、手を携えて持続可
能な地域社会を目指し
ていきたいと考えてい
る。地域にとって本当
に必要な活動を明確に
し、諸事情を勘案しな
がら、運営体制や組織
のスリム化について地

域の皆様と共に考えて
いくことが必要と考え
る。

**町が直接関わる組織
の統廃合の見直しは**

質問 「暮らし満足度

ナンバーワン」を目指
す上で町が直接かわ
る組織の統廃合の見直
しや、新たに設置する
考えは。



ふなやま まさお 議員
舟山 政男

まちづくりセンター
を活用する

町長 地区まちづくり

センターを核とした地
域活動の担い手育成と、
緩やかに地域ネットワ
ークを形成する仕組み
作りを開始している。
知恵を出し合いながら
地域活性化に向けて継
続した取り組みを行う。



児童の交通安全に取り組む
交通安全協会、交通安全母
の会の皆さん

高齢者健康維持支援は 野良猫との共生は

町長

健康づくりと介護予防
の推進に取り組む

高齢化が深刻化して
いるが支援が必要

質問 令和7年6月30

日現在の町の人口は6、
131人で約4割の方
が65歳以上の高齢者
となるが健康維持と体力
強化はどのように取り
組んでいくのか。

町長 令和6年3月に

策定した高齢者保健福
祉計画及び第9期介護
保険事業計画で掲げた
基本理念、「安心して
生き活きと暮らせる地
域共生社会の実現」に
向けて高齢者福祉施策
を展開し、健康診断や
生活習慣の改善を進め、

介護予防サービスを効
果的かつ効率的に提供
している。

具体的な取り組み
内容は

町長 令和4年度から

「高齢者の保健事業と
介護予防の一体的事
業」を進め、保健師や
栄養士などの専門職が、
ほのぼのサロン、百歳
体操や老人クラブなど
に出向き、口腔ケアや
体操講座のほか、筋肉
量や骨量などを測定し、
効果を実感してもらい
健康増進やフレイル予
防に繋げている。



よこやま きよひこ 議員
横山 清彦

飼い主のいない猫
と共生するには

質問 飼い主のいない

猫（野良猫）が増えて
いるように思えるが、
多頭飼育崩壊を防ぐた
めの町の取り組みは。

町長 無秩序な繁殖を

抑制するためチラシ作
成や町のホームページ
で周知を図っている。

質問 去勢、避妊手術

費用の補助制度やクラ
ウドファンディングの
活用については。

町長 補助制度を創設

している自治体もあり
施策について情報収集
し、取り組みたい。

学校名と脱炭素事業に合理性が欠けているのではないか

町長

さまざまな要件を勘案しながら、確実に進めていきたい

学校名変更はいつになるのか

質問 『いいでの森学園』などという名称は、そもそも父兄が議決前から現在まで反対している名称である。名称の変更などは一日もかからない事務作業であり、また、現町長が選挙活動においても話してきた事でもある。変更はいつになるのか。

町長 校名については開校準備委員会等で厳選されたものであり、町議会で議決されたことでもある。自分なりに検討しているのだから、猶予をいただ

きたい。

再質問

そもそも父兄からの応募数が一番どころか、たった二人の名称に決定することは『合理的』ではない。つまりは理不尽な力が作用したということである。明日にでも変更してもらいたい。

町長

現在いろいろと聞き取りしている段階で、様々な意見を取り入れて理解していただく決定をしていきたい。

脱炭素事業は本当に大丈夫か

質問

米沢市との共同事業で、『脱炭素事業』



まつやま かずよし 松山 和好 議員

実際には牛の糞尿を使った発電事業を飯豊町分として70億円にものぼる事業をしようとしているが吟味したのか。

町長

脱炭素社会を構築していくために重要な事業であり、着実に事業を進めていく。

再質問

今だに事業によつて発生させてしまう炭素と節約する炭素でどちらが多いかも検討しない、経営形式もはつきりしない、それでも実施するのか。

町長

環境省の採択を受けて環境問題に取り組んでいけることを喜んでおり、慎重に実施する。

財政以外に不足しているもの問われる政治家の覚悟とは

町長

覚悟ある政治家が町の未来を変えることができる

財政問題と町長の政治家としての覚悟は

質問 ふるさと納税の

具体的な効果策とは。

町長 飯豊町の強みの

地域産品を更に磨き上げ一億四千万からの増加を目指したい。

質問 財政難の折、義務教育学校の建設等に

向けて身を切る改革は。

町長 大幅な財源増が見込めない状況下「覚悟有る決断」をしたい。

質問 現在「義務教育

学校の校名再考を求める」署名運動が展開中だが、署名が届いた時の町長の行動、決断は。

町長 署名運動は初めに知った。その動きや

意見は受け止め、熟慮し開校時期も含め総合的に判断したい。

行政運営に当たり手本となる人物、自治体は。

質問 飯豊より過酷な

環境、条件の悪い自治体からも学び、飯豊の良さの再発見があるのでは。

町長 米坂線復旧に

関しては福島県の只見線、大分県の日田彦線視察。茨城県境町の移住定住政策、高齢者交通弱者対策を学びたい。

教育委員会の重要な役目、教育長の使命とは。

質問

小中学校での教師の出会いが子供の将



しまねき ひさお 島貫 寿雄 議員

来に影響大と思うが、町の教育理念に基づく教師の人間力の醸成は。教育長 町の目指す教師像を伝え学校では職員育成の方向性を共有し研鑽を積み本物の教師に育てて行きたい。

過疎という言葉から受けるイメージは。

質問

人口減が過疎ではなく意欲ある人間が住みずらい町が過疎地では。町の役員の人選は。

町長

人口減には特効薬はないが地域格差を是正美しく風格ある町にしたい。役員は地域課題解決のパートナーと考え委嘱している。

地区防災計画の進捗は

総務文教常任委員会

各課からの主な報告

主な質問と答弁

◆防災訓練の日程について

令和7年度総合防災訓練が開催される。

10月19日(日)
7時00分～12時00分
中部地区内
(主会場第一小学校)

◆第6回米坂線復旧検討会議について

8月27日に開催されJR東日本は復旧後の運営パターンそれぞれの利便性、持続可能性向上策や課題、JRの関わりを提示した。

◆東京飯豊会について

大芋煮会の開催が10月12日(日)東京都あきる野で開催される。

◆戸籍の振り仮名について

戸籍に記載される振

り仮名の通知書を7月22日に発送している。

◆子ども県展について

第67回山形子ども絵画展(子ども県展)において、本町から県展賞1名、奨励賞2名、入選に32名が選ばれた。

◆学童クラブ利用申し込み受付について

令和8年度の乳幼児施設、学童クラブ申し込み受付
10月14日～11月14日

◆菅笠講座について

菅笠づくりの後継者不足に直面しており、技術習得と後継者確保を目的に後継者育成特別講座を実施している。

◆菅笠づくりの後継者育成特別講座について

●地区の個別避難計画 遠藤(芳)委員 モデル地区を定めて取り組んだ地区防災計画の「個別避難計画策定」について、全町での取り組みはどのようになっていくか。

●菅笠後継者の育成は

屋嶋委員 9月～11月まで5回開催する菅笠後継者育成特別講座の内容は。

●社会教育課長

技術習得と後継者確保が目的であることから、菅を育て収穫までも大切に考える。今後将来的に一年を通した講座を考えた。

●プール解放の判断は

松山委員 今年の夏休み期間のプールについては暑さの指数が31を基準にほとんど毎日プール利用を禁止したが、一概に禁止するのではなく、自己判断で注意して利用する仕方がある。とても良いのではないか。

●菅笠後継者の育成は

菅笠づくりの後継者不足に直面しており、技術習得と後継者確保を目的に後継者育成特別講座を実施している。

●菅笠づくりの後継者育成特別講座について

菅笠づくりの後継者不足に直面しており、技術習得と後継者確保を目的に後継者育成特別講座を実施している。

●菅笠後継者の育成は

屋嶋委員 9月～11月まで5回開催する菅笠後継者育成特別講座の内容は。

●社会教育課長

技術習得と後継者確保が目的であることから、菅を育て収穫までも大切に考える。今後将来的に一年を通した講座を考えた。

●プール解放の判断は

松山委員 今年の夏休み期間のプールについては暑さの指数が31を基準にほとんど毎日プール利用を禁止したが、一概に禁止するのではなく、自己判断で注意して利用する仕方がある。とても良いのではないか。

●菅笠後継者の育成は

菅笠づくりの後継者不足に直面しており、技術習得と後継者確保を目的に後継者育成特別講座を実施している。

●菅笠づくりの後継者育成特別講座について

菅笠づくりの後継者不足に直面しており、技術習得と後継者確保を目的に後継者育成特別講座を実施している。



利用日が少なかったプール

意を示すなどを行い、遊泳確保したい。

●明確なプール利用 横山委員 プール利用が暑さ指数が31を超えて中止にもかかわらず使用していたのは事実か。

●社会教育課長 原則一般開放は中止とした。講師を招いての水泳教室があり、講師の判断により行っていた。今後、誤解のないように対応を検討したい。

熊の餌となりえる 放置果樹への対策は

産業厚生常任委員会

各課からの主な報告

主な質問と答弁

◆今年の熊捕獲頭数について

・9月11日現在 22頭
※参考値
・令和5年23頭
・令和4年4頭

◆町民観光満足度調査について

観光に対する町民の意識を可視化するため調査を実施する。

◆高温渇水対策の状況について

「飯豊町高温渇水対策事業」の問い合わせ件数
・農業用水確保対策 2件
・園芸作物等高温対策 5件

◆空き家の全町調査中の状況について

7月末時点の空き家総数は290軒で、前回調査（令和5年）に比べ17軒の増となっている。今秋にも空き家情報提供を部落長及び自治会長を対象に実施する予定。

◆観光化等構想策定の住民調査について

「フォレストいいで」の活用を中心とした観光化等構想策定のために、地域住民への意向調査を実施する。

◆65歳以上の方への商品券時配布について

・配布済み件数 2,535名
・換金率（取扱事業所）9月10日現在 67・5%
（健康福祉課）

●熊出没の対応は

島貫委員 熊の出没が例年以上に多発しているが、熊の餌となる放置された柿の木に対策を講じてはどうか。

だきたい。

●予防接種の状況は

菅野委員 带状疱疹ワクチン予防接種の状況は。

健康福祉課長

生ワクチンと組替えワクチンの2種類があり、効能が長い組替えワクチンが、接種者の8割、124名となっている。

●クーポン券の利用は

屋嶋委員 今年度の新



柿の木と「熊出没注意」のぼり

規事業の「赤ちゃんおむつ用品クーポン券支給事業」の利用状況は。健康福祉課長 今年度は30名分の予算を確保している。現在まで5名に支給し、今後15名の申し込みが見込まれている。

●雪崩対策は 遠藤（純）委員 ダム道路の雪崩対策として、構造物に加えてナラなどの樹木の植栽によって、雪崩対策がより強化されると考えるが、県の担当者と協議した経過はあるか。

地域整備課長 今までに協議した経過はない。現在は県土木部において、雪崩防止柵の設置を進めていただいている。

新たなスタート (R7.8～R9.7)

さらに町民の意見を聞き住みよいまちづくりに努力します。

高橋 勝 議員
松山 和好 議員
島貫 寿雄 議員
遠藤 芳昭 議員
横山 清彦 議員

(後列)

高橋 亨一 議員
遠藤 純雄 副議長
屋嶋 雅一 議長
菅野富士雄 議員
舟山 政男 議員

(前列)



いあいみづ

議長

屋嶋 雅一

8月5日の第4

回飯豊町議会臨時
会にて、議長に就
任いたしました屋
嶋雅一です。

私が目指す議会

は、町民の声が議
会に届き、それを
基に議論と政策が
作られる議会です。
町政の方向を正し
く導くことができ
るよう、微力なが
ら町民のご期待に
応えるよう精一杯
努力します。今後
とも、よろしくお
願いいたします。

飯豊町議会の新体制

議長 屋嶋 雅一
副議長 遠藤 純雄
監査委員 高橋 亨一

議会運営常任委員会

委員長 菅野富士雄
副委員長 遠藤 純雄
委員 遠藤 芳昭 舟山 政男
高橋 勝

総務文教常任委員会

委員長 舟山 政男
副委員長 松山 和好
委員 屋嶋 雅一 菅野富士雄
高橋 亨一 遠藤 芳昭
横山 清彦

産業厚生常任委員会

委員長 高橋 勝
副委員長 舟山 政男
委員 屋嶋 雅一 菅野富士雄
高橋 亨一 遠藤 純雄
島貫 寿雄

広報公聴常任委員会

委員長 遠藤 芳昭
副委員長 横山 清彦
委員 松山 和好 高橋 勝
遠藤 純雄 島貫 寿雄

置賜広域行政事務組合 議会

屋嶋 雅一
松山 和好
高橋 勝

置賜広域病院企業団議会

屋嶋 雅一
遠藤 芳昭
舟山 政男

西置賜行政事務組合議会

遠藤 純雄
島貫 寿雄
横山 清彦



町観光協会との意見交換会

インバウンド受け入れ強化を

9月29日、一般社団法人飯豊町観光協会の取り組みや課題について意見交換会を開催した。外国人観光客の受け入れ（インバウンド）の実績報告を受け今後の観光のあり方等を話し合った。

インバウンドの実績

コロナで停滞していたインバウンドも昨年は台湾からの観光客を中心に約9300人も外国人客が訪れた。

台湾関係者からは「飯豊町での雪遊び」は蔵王、銀山と同等の評価をいただいているとのこと。平成24年から15年もの長い間の地道な努力があったからと思われる。

通年の誘客が課題

インバウンドは冬の間、一般の観光客は無

雪期の来町が主であり、いずれも通年での観光をどのように作り上げていくかが課題となっている。観光産業を推進するのは「自然」や「歴史・

文化」だけでなく「食事・宿泊施設・土産品」などの対応も重要視されるため、町をあげて通年誘客のために取り組むことを確認した。



町の観光振興について多くの意見が出された



飯豊町での雪遊びはインバウンド最大のアクシヨンメニュー

全議員が参加

関川村で米坂線絆まつり

令和4年8月から不通となっているJR米坂線の復活の気運を高めるため「第2回米坂線復活絆まつり」が8月31日、新潟県関川村で開かれた。本県からも多くの参加があり、吉村山形、花角新潟両県知事も「地域の足の確保にしっかりと取り組みたい」と訴えた。

両県はJR東日本に「鉄道での復旧・運営」を求めているが、JRはJR単独での再建には難色を示している。できる限り早い結論が求める声も多い。この日はあべあいこさん（樺出身）もステージで「汽車は走る」などの曲を披露した。



両県知事や自治体首長が早期復旧を訴えた



米坂線復活を歌にこめ曲を披露するあべあいこさん

菅野前議長 総務大臣表彰

10月3日、12年間の議長のを職を果たされた菅野富士雄議員に対し、総務大臣から表彰状が授与された。



議会チーム参加

町長・老人クラブ杯 ゲートボール大会

めざみの里まつりイベントのひとつとして開催された大会で、議会チームも参加し9チーム中3位となった。



老人クラブ会長による始球式

町民からのメッセージ「私からひと言」

〈賑わいの町づくりに観光の力を〉

第6回

飯豊町観光協会

たか はし たつ や
高橋達哉 さん(椿)

高橋達哉さん



高橋さん 直近では「おいでマルシェ」の取り組みです。たくさんのお店者に協力いた

最も力を入れている観光協会の事業は

高橋さん 観光パンフレット作成、ウェブサイトやSNS等による観光情報の発信。イベントの企画等多くの業務を担当しています。

観光協会での担当は

議会だよりでは町民の皆様の活躍やご意見を紹介しています。今回は一般社団法人飯豊町観光協会で、観光客受け入れのために連携を担当している「高橋達哉」さんです。おいでマルシェの担当でお忙しい中でしたが、観光の仕事についてお話を聞きました。

町の魅力をどのように伝えていきますか

だきにぎやかなイベントとなりました。今後にも町に活気を作る事業をたくさん行っていきたいと思っています。

高橋さん

美しい景色

を紹介するだけでなく、台湾はじめ国内外からのお客様に対し、雪国ならではの「雪遊び」を提供しています。水没林では「カヌーやキャンプ」など、飯豊町ならではの体験メニューを案内しています。そのための写真や動画の活用にも力をいれています。

観光の町づくりへの思いを聞かせてください

高橋さん

観光客が増えれば地域経済が活性化するだけでなく、町民が文化や伝統を再認識するきっかけにもなり、町民の自信と誇りにも繋がると 생각합니다。

観光協会という業務の中で「住んでいる人が誇りに思える町」「何度訪れたいくなる活気のあるまちづくり」に取り組んでいきたいと思っています。



農産物直売で生産者と談笑する高橋さん

議会からひとこと

近年、インバウンドや水没林などで注目されている本町で、今冬台湾から9300人も観光客が訪れ、雪遊びを体験したとのこと。訪日客への対応も好評で、年間1万人超えを目指して取り組んでいただくよう期待しています。

議会定例会の傍聴お待ちしております

次回の定例会開催は**12月4日(木)**からの予定です。

インターネットからでも見るができます。

議会のホームページでご確認ください。

議場で音声聞き取りにくい場合はイヤホンをお貸しできます。

お問い合わせは議会事務局へ TEL 0238-87-0527

編集後記

8月に議長が交替して新たな体制となりました。議員の任期は4年ですが、議会規則等では2年毎に担当委員会や役職が変わります。広報公聴担当は左記のメンバーとなりました。まちづくりに対する町民の意見を、議会や議員の活動に繋げ、「議会だより」等でお知らせする大切な役割を自覚し、今後の活動に努めますので、ご愛読くださるようお願いいたします。

(遠藤芳記)

発行責任者
議長 屋嶋 雅一

発行
広報公聴常任委員会

委員長 遠藤 芳昭
副委員長 横山 清彦
委員 島貫 寿雄
委員 松山 和好
委員 高橋 純雄

高橋 勝